

候、以上、

正月

〔武家嚴制錄 三十九〕御成ニ付諸御禮被爲請之次第御書立

覺○中略

一年頭西丸にて諸禮ハ、四日五日たるべき事○中略

一 無官之面々、年頭之西丸之御禮ハ、七日たるべき事、附、江戸町中、京大坂所々町人、此内に可付

事○中略

以上

慶安二年九月十八日

〔憲教類典一ノ西丸 二十二〕享保十乙巳年六月廿四日

西丸江 出仕之覺

年始○中略

一 町人諸職人等、西丸江 御禮ニ罷出ニ不及、獻上物者御本丸江 相納○中略

右之通可被相觸候

六月

〔駿府政事錄〕慶長十八年正月二日、京堺、大坂、奈良、伏見町人等御禮云々、四日、駿府町人等御禮云

云、

〔元寬日記〕元和二年正月三日、白書院次ノ間御縁ニ、江戸、上京、下京、大坂、堺、奈良、伏見、大津過書近代銀座

朱座 並居御禮、奏者番披露之、

〔大猷院殿御實紀〕寛永元年二月晦日改元 正月七日、市人等新春の賀として拜し奉る、